

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 017	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会
要望問題名 カキ‘太秋’の栽培マニュアル作成	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 カキ‘太秋’は、サクサクとした歯ごたえ、果肉が緻密でやわらかく、果汁を多く含んで甘みも強く食味に優れ、消費者に人気の品種ですが、雄花が大量について作業労力上、問題がある。また、剪定技術が従来品種と異なるため、剪定方法に困っている。 そのため、‘太秋’の生産安定のための通年作業栽培マニュアル作成をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	対応の内容等 ‘太秋’については花芽着生特性が従来品種とは異なるため、夏肥施用による花芽着生向上などの個別技術の試験研究に取り組んできましたが、栽培技術全般にわたる試験は実施していないため、栽培マニュアル作成は困難であると考えています。 一方、‘太秋’の安定生産のために重要な花芽着生や整枝・せん定技術に関する情報は、農業技術体系果樹編のほか、他県の成果や指導用資料など参考となる資料がありますので、これらの資料を活用して普及指導部が現地指導します。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考	・農業技術体系果樹編4 品種生態と栽培 P116 の9 優良新系統のつくりこなし方 P140 の4～17 ・ <a href="https://agri-kumamoto.jp/cultivation/data/落葉果樹(カキ)の整枝・せん定のポイント/">https://agri-kumamoto.jp/cultivation/data/落葉果樹(カキ)の整枝・せん定のポイント/</a> (熊本県農業情報サイト) ・ジョイントV字トレリスにおけるカキ‘太秋’の初期成育、初期収量および果実品質(朝隈ら、2016)など		